

「熟議」ってなあに？ どうやってするん？



「熟議」とは、**多様な関係者**と共に活発な議論を重ねながら課題解決を目指す対話のことです。

学校や子どもたちの課題等を学校だけで抱え込んでしまうのではなく、保護者や地域住民等、多くの当事者が集まって話すことがポイントです。そうすることで互いの立場や役割が明確になり、**新しいアイデアや考え方**が生まれ、今後の方針を決めていくヒントになります。そして、それぞれが**納得して自分の役割を見付ける**ことができます。

いろいろな機会に熟議は開催されています！

子どもたちに身に付けてほしい力は？



学校で研修会を開催
【R1 吉備中央町立大和小】

夏休みに教職員と保護者、地域の方で開催したのね。冬休みには夏休みの続きを熟議していたわよ。

地域教材・人材発掘と教科化に向けて



学校運営協議会で
【R1 倉敷市立菅生小】

先生が『地域と協働して行いたい授業』を説明した後、みんなでアイデア出しをしていたわ。「**社会に開かれた教育課程**」の実現に向けて動いているわね！

子どもたちの課題に迫る取組について

瀬戸内市は各中学校区の「めざす子ども像」が熟議によって決まったよ。

円卓の段ボールをテーブルにして活発に話し合っているね。



中学校区の研修会で
【R1 瀬戸内市長船中学校区】

めざす子どもの姿と実現に向けて



小中学生は「どんな大人になりたいか」、大人は「どんな子どもに育ててほしいか」を互いに伝え合っていたよ。その後「**学校・家庭・地域でできること**」についてみんなでアイデアを出し合っていたよ。

拡大学校運営協議会で
【R1 浅口市立寄島小・中】

熟議の展開例（約90分）

【はじめに（15分）】

- ①「**目的（なぜ熟議をするのか）**」という今日のゴールを確認する。
- ②テーマに関する情報（**実態・背景等**）を共有する。

【熟議（60分）】

- ③グループで自己紹介をし、自分の**意見やアイデア**を付せんに**たくさん書く**。
- ④意見を共有し、今日のゴールに向けて、**意見をまとめていく**。

【共有（15分）】

- ⑤グループごとの意見を**全体で共有**する。
- ⑥意見やアイデアを**どのように次につなげるか**、今後の話し合いの場をどうするのかなど、**全体で確認**する。

熟議のテーマ（例）

どのような子どもを育てたいのか	あいさつ日本一の地区をめざすために
スマートフォンやインターネットの取扱いについて	地域の力をどのように教育課程に入れていくか
郷土学習で何を子どもたちに伝えるか	地域に貢献できることは何か



【参考】文部科学省総合教育政策局地域学習推進課「コミュニティ・スクールのづくり方」

熟議から協働へ

熟議の実施を通して、学校と地域の**信頼関係**を構築し、学校と地域が互いに「**参画**」し、共通の目標に向けて「**協働**」する**活動（地域学校協働活動）**をしていくことが重要です。

気をつけて！

しかし、「熟議をしたのに協働活動につながらない。」ということがあります。話し合ったことや決定したことが**どのよう**に次につながっていくのか、実現に向けてどのように流れていくのか、**多くの関係者で確認**するようにしましょう。

（担当の先生、管理職、推進員等）一部の人が負担を抱えることがないように、チームで取り組みましょう。



研修や熟議に関する相談がありましたら、市町教育委員会や岡山教育事務所生涯学習課（086-221-7776）までご連絡ください。